

留学を終えて 聖マリア女学院高等学校 本田結菜（オーストラリア）

はじめに

私は2024年4月から2025年3月までオーストラリアのアデレードにある高校で1年間正規留学しました。私の留学の目的は沢山の人と関わり、日本では出来ない経験をして自分の世界を広げることでした。

移民大国であるオーストラリアでは沢山の人種、国籍の人と知り合うことができ、多様な価値観に触れることが出来ました。そして日本では出来ない教科を選び、初めてのことを経験し、自分の可能性を広げられることが出来たと感じています。

新しい環境で生活することで、沢山のことを学び、成長することが出来ました。

加えて1年間ホームステイという新しい経験もしました。私は元々人と長時間一緒にいるのが得意では無かったので留学前に感じていた不安要素の1つでした。ですがホームステイではかけがえのない思い出が出来ました。同じ家にステイしていた他の留学生との関わり、ホストマザーとその家族との関わり、すべての要素が人との関わりの学びにつながりました。そしてすべての行動、持ち物が自分の責任という環境下に身を置き責任感が強く、自己管理能力が向上したと感じています。

留学先での経験

私は留学先で、日本では出来ない教科を積極的に選択しました。ファッション、デザイン、建築、心理学など、前から興味があったが日本では学ぶ機会の無かった教科を選択しました。興味を持っていたけれど留学に行かずそのまま日本に残っていたら学べていなかった分野を学べて自分の選択肢を広げることが出来たのと同時にかけがえのない貴重な時間になりました。そして多くの選択肢を経験するにつれ、自分に何が向いていて向いていないのかも知ることが出来ました。向いている事、向いていない事を知るきっかけを得られたのは私のこの先の進路においてとても良い要素、経験になったと確信しています。この1年間の留学で知ることが出来た私の得意、不得意、向き、不向きをこれからの進路に活かしていきたいです。

加えて、いくつかボランティア活動にも参加しました。学校の canteen(購買のようなもの)で働き、注文された品を渡したり在庫を補充するなどの仕事をしました。この活動では接客人と多く接し、どうしたら人に良い印象を与えられるのかを学びました。明るい声で話し、常に笑顔を保ち、話しかけられたことに対し1つ、1つ返事をするなどです。今回学んだことは大学生になりアルバイトをするときや就職活動、新しく友達を作るときなど広い機会。場面で役に立つスキルだと思います。今回の留学で得た物の中で、最も役に立ち、かけがえのない学びの1つだと感じています。

毎週水曜日に学校である無料の朝食活動にも参加して提供するためのエッグトーストをボ

ランティアとして作ったりもしました。

そして私は日本の伝統文化を伝えるボランティアにも参加しました。

元々私は日本の伝統文化に興味があり、自分にも何か出来ることはないかと考えていました。せっかく留学でオーストラリアに来ているのだからこの 1 年の間に何かできないかと考え、政府の人やエージェントの方にメールを送り、機会を得るために自分から行動しました。その結果、日本の文化を紹介している団体を紹介していただきいくつか活動に参加させていただくことが出来ました。そのうちの 1 回はひな祭りをテーマにしたマーケットでお雛様を飾り、お雛様の意味や役割をオーストラリアの方に紹介したり習字、折り紙を一緒に体験したり、浴衣を着つけて差し上げたりしました。日本の美しい文化、伝統を紹介できるととてもいい機会でした。

挑戦したこと

私がとっていたデザインのクラスでプレゼンテーションをしたのが私の 1 年間での最も記憶に残っている経験です。

香水のパッケージデザインを自分でデザインする授業で、その過程やアイデアなどをクラスの前でプレゼンテーションしました。プレゼンテーションをしたのは学年の終わりで、ほぼ 1 年をかけて自分の最終デザインを作りました。完成までは A3 サイズの紙に記録をし、アイデアをスケッチして、過程を写真に撮り添付し、自分オリジナルのフォルダーを作り提出しました。A3 サイズのページを 20 ページ以上作りました。

パワーポイントを作り英語で自分のアイデア、こだわったポイントなどを説明するのはとても難しく、大変でした。ですが、先生に分からない所を聞きに行き、ホストシスターの前で何回も練習をして本番ではとても上手にプレゼンテーションをすることが出来ました。プレゼンテーションが終わった後、クラスみんなが笑顔で沢山の拍手をしてくれた時はとても達成感があり自分が誇らしくなりました。

学んだ事

留学中に色んな教科を学び、沢山の人と話し、オーストラリアでニュースを観て、自分の本当に興味がある事は何なのかを知ることが出来ました。ずっと興味のあったデザインの分野は自分はあまり向いていないことが分かりました。そして日本から離れて客観的に日本を見て、日本のいい所を再確認しました。しかしそれと同時に日本の改善点、課題を実感しました。日本の良さ、悪さを改めて認識して、私は日本が大好きなのだと感じました。それと同時に、今の日本をより良くして日本本来の昔からの良さをそのまま残して心の底から誇れる日本にしたいと思いました。自分の心の底からやりたいこと、目標を自分の中で明確にすることが出来ました。自分の興味のあることを知ることができ、自分の進路を見つめ直すきっかけになりました。今後は留学で学んだ事、気づいたことを生かした進路を選んでいきたいです。

帰国後の展望

今後は日本をより良くすることにフォーカスを向けて進路を決めていきたいです。日本古来の良さがつまっている伝統文化、工芸品を継承して保護をしていく活動などみたいですし、日本の歴史などもより深く学んでいきたいです。そして前までは興味がありませんでしたが、日本の政治なども学んで日本をより深く知りたいです。そして日本の将来を考えていきたいです。まず高校生のうちに私が出来ることはボランティア活動だと思います。岐阜県にも誇るべき失ってはいけない伝統や工芸品が沢山あります。そういった物に携わっている方々の役に少しでも立てるような活動を探していきたいです。

それでももちろん勉強もしなくてはなりません。政治、公民、歴史、国際情勢をより深く学びたいです。日々の学校での授業を大切にし、個人的な知見を深め、自分自身の意見を何事においても持てるようになっていきたいです。そして選挙の事も学び、18 歳になったらすぐに行けるよう準備もしておきたいです。

大学では政治や歴史を学び、日本をより良くする手伝いが出来るような大人になりたいです。

結論

留学では自分を見つめなおすことが出来たと感じています。自分は何がやりたいのか、向いているのかを再確認することが出来た1年だと思います。

いろいろな経験をして、沢山の人の関わり、自分の可能性が広がったと実感しました。とても濃い1年で自分の人生の中で1番いろいろなことに挑戦した時間でした。とても自分自身の成長を感じることが出来たとても楽しい1年でした。